

# 【記入例】第二種機関保証

●各自が署名してください。

## ①奨学金の種類

あなたが貸与を受ける奨学金の種類が印字されています。

### ●貸与種別

- 第一種：無利子
- 第二種：有利子

### ●保証区分

- 機関保証：保証機関の連帯保証を受ける制度
- 人的保証：連帯保証人及び保証人の保証を受ける制度

## ②誓約日

・スカラネットで入力した誓約日です。

## ③借入金額

・現在の貸与月額で予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の借用総額です。

## ④奨学生本人

- ・印字内容が正しいことを確認してください。
- ・住所は現在住んでいる住所です。ただし、添付書類欄に「住民票」と印字されている場合は、住民票に記載された住所です。
- ・「採用種別」は、あなたの採用種別が印字されています。

## ⑤署名

- ・住民票の表記のとおり署名してください（住民票が旧字体の場合は旧字体のまま署名。外国籍の方でアルファベットで表記されている場合はアルファベットで、アルファベットと漢字が併記されている場合はアルファベットか漢字のどちらかで署名）。

## ⑥貸与の条件(予定)

- ・「貸与額計」の金額に「\*」がついているものは、第二種奨学金にあわせて貸与を受けた入学時特別増額貸与奨学金の金額です。

## ⑦返還の条件(目安)

- ・貸与の条件(予定)で貸与を受けた場合の返還の条件(目安)が印字されています。
- ・返還総額は、本欄の「総支払額」の金額となります。

### 返 還 誓 約 書

(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)

**①【第二種機関保証】**

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構奨学貸与金を下記のとおり借用いたします。

つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学規程その他の諸規程によって確認した事項を遵守し、「奨学生のしおり」記載の取扱いにしたがい返還することを誓約します。独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）に提出した個人番号については、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人信用情報同意事項」を承認し、同意します。なお、私が借用した学貸貸与金は、第二種奨学金（利息付）であり、機関保証を選択しました。

**②** 令和 4年 4月 1日

**③** 借用金額 ¥ 2 4 0 0 0 0 0

**④** 奨学生本人

奨学生番号 822-04-000000 ID 7 001 [採用種別] 予約

在学学校 日本学生支援大学

住所 〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

電話番号 03-1111-1111 携帯電話番号 090-0000-0000

氏名 (奨学 太郎) 7月27日 37歳 7ヶ月

署名 **⑤** 奨学 太郎

平成 15年 11月 11日生 性別 男

貸与の条件(予定)	貸与期間		貸与回数	貸与月額	貸与額計
	開始年月	終了年月			
1	2022年4月	2026年3月	48回	50000円	2400000円
2	年月	年月	回	円	円
3	年月	年月	回	円	円
4	年月	年月	回	円	円

返還の条件(目安)	月賦返還	月賦返済日	返還回数	初期割賦金	割賦金	最終割賦金
1	月賦返還	毎月27日	180回	16769円	16769円	16917円
2	併用返還	月賦返済日 毎月27日	180回	8384円	8384円	8516円
	併用返還	半年賦分 毎年1・7月の27日	30回	50355円	50355円	50361円
	併用返還	併用返還選択時の総支払い額(利子込み)				3019908円

選択された利率の算定方法：利率固定方式

注：利率が未確定のため、返還の条件(目安)は、上限利率の年3.0%（増額貸与部分は、年3.2%）で仮計算しています。確定した年利率で計算した内容については、貸与終了時に送付される通知でご確認ください。

[参考] 令和 4年 3月貸与終了者に実際に適用された利率（年0.268%、増額貸与部分は年0.468%）で計算した場合の返還額（※この利率があなたに適用されるわけではありません）

返還の条件(目安)	返還期日	返還回数	初期割賦金	割賦金	最終割賦金
1	月賦 毎月27日	180回	13621円	13621円	13743円
2	返還 月賦返還選択時の総支払い額(利子込み)				2451902円
3	併用 月賦分 毎月27日	180回	6810円	6810円	6915円
4	併用 併用返還選択時の総支払い額(利子込み)				2452018円

※返還の方法は、本返還誓約書で選択された「月賦返還」又は「併用返還」です。併用返還の場合は、「月賦・半年賦併用返還」は選択できません。割賦金等は予定のため、確定した金額は、貸与終了後に通知するものとします。返還回数と割賦金の計算方法は、「奨学生のしおり」に記載してあります。

※独立行政法人日本学生支援機構が第一種奨学金の貸与を受けるための信用情報については、裏面【返還誓約書記載事項について】の2ページ目をご覧ください。

※人的保証とは連帯保証人及び保証人による保証を受ける制度。機関保証とは保証機関による保証を受ける制度をいいます。

※機構は、奨学金の貸与を受けていただく者が奨学生として、本人も受けた際には「借用金額」として貸与した奨学金の借入を貸与する義務を負うものとします。併せて記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学生貸与業務（返還業務を含む）のために利用いたします。

この利用目的の達成が範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が貸与する個人信用情報の取扱い管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の返還業務の円滑化のために閲覧があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

必ず月賦返還1又は併用返還2を選択し、  
チェックボックスに✓を記入してください。

選択した割賦方法は変更できませんので十分検討して✓を記入してください。

(同一筆跡不可)

※同一筆跡字面において、下には「定額返還方式（貸与額に定めた返還回数で算出された制約会で返還する方式）」又は「所得変動返還方式（所得が所得に変動して算出した制約会で返還する方式）」のうちから、あなたが選択した返還方式が印字されています。  
 ※第二種奨学金においては、全て貸与額に定めた返還回数で算出された制約会で返還する方式による返還となります。

【提出用】

※本人が未成年者（以下未成年）の場合には、親権者が返還契約書の記載内容及び機関の請求額を確認し、同意のうえ、所定の欄にそれぞれ署名してください。親権者とは、民法に定められた親権者のことです。親権者がいない場合には、未成年後見人が同様に署名してください。

本人以外の連絡先 ⑧	住所 〒 153 - 8503 東京都目黒区駒場 4-5-29	電話番号 03-0000-1111	携帯電話番号 090-9999-9999	印不要
	氏名 (機構 次郎) 署名 機構 次郎	フリガナ キョウジ シロ		
	⑨続柄 おじ	昭和 56 年 1 月 1 日生	***	
	勤務先	電話番号	*****	
	*****記入不要*****			
***	住所 〒 -	*****		
***	電話番号 *****	携帯電話番号 *****	***	
***	氏名 *****	フリガナ	***	
⑩【誓約日において本人が未成年の場合】				
親権者 (1)	住所 〒 東京都新宿区市谷本村町 10-7	電話番号 03-0000-0000	携帯電話番号 090-0000-9999	印不要
	氏名 (奨学 一郎) 署名 奨学 一郎	フリガナ ショウガク イチロウ		
	⑨続柄 父	** 年 ** 月 ** 日生	***	
	勤務先	電話番号	*****	
	*****記入不要*****			
親権者 (2)	住所 〒 162 - 8431 東京都新宿区市谷本村町 10-7	電話番号 03-0000-0000	携帯電話番号 090-9999-0000	印不要
	氏名 (奨学 春子) 署名 奨学 春子	フリガナ ショウガク ハルコ		
	⑨続柄 母	** 年 ** 月 ** 日生	***	
	勤務先	電話番号	*****	
	*****記入不要*****			

⑧本人以外の連絡先

- ・スカラネットで入力した本人以外の連絡先の人物の情報が印字されています。
- ・卒業後にあなたへ送付する重要な書類が届かないなど連絡が取れない場合に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。
- ・あらかじめ連絡先となる人に役割をよく説明し、承諾を得てください。

⑨続柄

- ・「その他 ( )」と印字されている場合は ( ) の中にあなたとの具体的な続柄を記入してください。

⑩親権者(1)(2)

- ・あなたが未成年の場合は、スカラネットで入力した親権者(1)(2)の情報が印字されていません。確認のうえ、親権者が署名してください。

⑪添付書類

- ・必要な添付書類が印字されています。添付もれがないようによく確認してください。申込時にマイナンバー未提出の奨学生本人は、「住民票」と印字されており添付が必要です。

⑪添付書類

- ・「保証依頼書（兼保証委託契約書）・保証料支払依頼書」（コピー不可）

学校番号	104900	★
区 分	00	
学部学科	2006	
学籍 No	123456	

(記入上の注意)

- ・黒又は青のボールペンを使って各自が署名・記入してください。ただし、消せるボールペンの使用は認められません。
- ・記入を誤った場合は、誤った部分を二重線で消し、各欄内に正しい事項を記入してください。署名を誤った場合は、フルネームを二重線で消し、再度正しい署名を行ってください。修正をする際、紙貼り、修正液、字消し等を使用すること、なぞり書きをすることは認められません。
- ・印字事項を訂正する場合は、学校へ申し出てください。
- ※訂正方法の詳細は【訂正例】42～43ページを参照してください。

※本ページの返還誓約書（見本）は、奨学生のしおり作成時点のものであります。ご了承ください。